

船舶事故等調査報告書

平成22年11月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第302号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年12月19日 14時46分ごろ	
発生場所	鹿島灘 鹿島市鹿島港南防波堤灯台から真方位054° 10.6海里付近 (概位 北緯36° 03.6′ 東経140° 53.5′)	
事故等調査の経過	平成21年12月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 第六 <sup>あんよう</sup> 安洋丸、199トン 134968、安洋水産株式会社 B 漁船 欣 <sup>きんえい</sup> 栄丸、19トン FS2-3263（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、四級海技士（航海） B 船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	A なし B なし	
損傷	A 船首外板擦過傷、右舷外板擦過傷、右舷手すり曲損 B ブリッジ上部のレーダー送受信機等損傷、左舷ブルワーク損傷	
事故等の経過	A船は、船長Aほか8人が乗り組み、約12.5ノット（kn）の速力で自動操舵により鹿島灘を北進中、単独で当直中の船長Aが居眠りに陥った。 B船は、船長Bほか4人が乗り組み、約3.1knの速力で北西進して底引き網漁を行っていた。 船長Bは、南方から向かってくるA船に気付き、汽笛を吹鳴して避航を促したが、A船が針路を変えことなく接近してきたので、機関を中立状態にした。 両船は、平成21年12月19日14時46分ごろ、A船の右舷船首部とB船の左舷船首部とが衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 西、風力 5、視界 良好 海象：波高 約1～1.5m	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	A あり、B なし A なし、B なし なし A船は北進中、B船は北西進して漁ろうに従事中、鹿島灘において、両船が衝突したものと考えられる。 船長Aは、単独で当直中、疲れと睡眠不足のため、居眠りに陥ったものと考えられる。 船長Bは、A船に対して汽笛を吹鳴して避航を促した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、鹿島灘において、A船が北進中、B船が北西進して漁ろうに	

	従事中、単独で当直中の船長Aが、居眠りに陥ったため、B船に気付かずに航行し、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。
--	---